

## 幕末明治の写真師列伝 第三百十一回 宮下欽 その四十九

「四月十二日 朝雨

(前略)

一、庫吉(註1)明日明後日両日自用ニ而外出致し度旨先生江相願、外出中宮下氏江相願置、

(中略)

一、横関氏午前十一字頃来、宮下氏対話、

一、代金二拾三円、一寸四分四枚玉一ツ、

一、代金五拾六銭二厘五毛、ホクトメーテールツ、

一、進上、リンサンソフダ(註: 燐酸曹達)一瓶、  
右者横関氏江先生方御送代料、宮下氏方請取、同人午後  
五字帰ル、

「四月十三日 晴

一、(前略)○宮下氏武田駿三郎様江罷越、石版取戻し来、  
十字頃取扱所方御尋申し度義有之候間、御出可有之ニ而申し  
来、右ニ付庫吉即罷越候処、金上(註: 明治天皇)御写真再  
写致し売買致し候哉□(註: ニカ)相聞、右様之義者不相成  
事者元方御写真所持致し者者、艸々差出候、様扱所ニ而申し  
聞、右様之義無之候得者、請書致候様申聞候間、先生御留守  
故彼是印形持参可致旨申断帰、(後略)」

「四月十六日 晴

一、午前十字宮下氏、横浜・里介様江罷越、横浜景色双眼取  
致し種板送被下候様口上申伸、右ニ付機械等里介様江相送候  
品、留記ニ有之、

一、宮下氏蓮杖様江罷出、東門油絵并弁天景色油絵御返却被  
下候様申伸、外ニ石版一ツ・同薬品・同コロ一ツ、右之品ニ  
蓮杖様方先生ニ御送被成候様、御漸有之候趣ニ付、右ノ品ニ  
蓮杖様江何御渡相成候ハ、持帰候様、宮下氏江先生方御申  
付、

(中略)

一、宮下氏善光寺写真種板頂戴致し度旨先生江相願、右ニ付  
元代金取調、代価請取、写真相渡候事ニ取極、

(中略)

一、宮下氏横浜江一泊、

「四月十七日 晴

一、第三字過宮下氏横浜方帰、横浜方持参之品左之通、

一、東門油絵 一ツ

一、弁天同 一ツ

右者此方之品、

一、石版石 一面

一、同コロ 一ツ

右者蓮杖様方借用、

石版薬品入小瓶三ツ

右者蓮杖様方至来、

メ七品宮下氏持帰、

(中略)

一、宮下氏牛込辺江自用外出一泊、

「四月十八日 十二字雨

一、午前十一字宮下氏・庫吉帰来、(後略)」

「四月廿一日 晴

(前略)

一、宮下氏先生江相願御譲相成写真、左之通、

台紙ナシ 四ツ切善光寺写真九枚、

同 手札拾一枚、

右之品如何被成哉承り候処、弟 江四枚、君父江四枚、  
武田氏江一枚相送候旨断有之、但元代金者相納候様申遣、  
(後略)」

「四月廿二日 曇

一、宮下氏聖堂江舞楽面写して罷越、(後略)」

「四月廿四日 曇

(前略)

一、宮下氏聖堂江罷越、写室并機械薬品等取寄候ニ付、人足  
召連罷越、夫方宮下氏二者蜷川様江罷越、舞楽写真種板繕并  
紙取致候ニ付、一ト先(註: ひとまず)機械薬品持帰候与申  
断、聖堂役人衆江茂同断、(後略)」

「四月廿五日 晴

一、宮下氏自用外出、鹿野氏自用外出、午後一字庫吉帰来、  
(中略)

一、金三円、宮下氏方請取、

右者四月中居喰料、

(後略)」

「四月廿九日 晴

(前略)

一、宮下氏弟方江罷越、

(後略)」

「五月二日 晴

(前略)

一、台紙ナシ、双眼、拾一枚、

一、同、手札 二拾七枚、

右者宮下氏頂戴料納メ事、

(後略)」

註1: 庫吉は横山松三郎の写真の弟子で、箕浦庫吉のこと。

註2: 蓮杖様は、横山松三郎の師匠・下岡蓮杖のこと。

(※「方」は平仮名の「よ」と「り」の合字)

(森重和雄)